

「シャッター・オーバーヘッドドア耐風圧強度計算基準」の誤記について

拝啓 関係各位におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。また、平素は当協会の事業推進にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

先般改訂を行いました「シャッター・オーバーヘッドドア耐風圧強度計算基準」につきまして、一部印刷ズレによる誤りがありました。謹んでお詫び申し上げますとともに、以下の通り訂正させていただきます。

敬具

27 ページ 計算式の平均速度圧数値 $-q$ (誤) $\overline{q}$ (正) です。

一 次の式により計算した風圧力に対して安全上支障のないこと。

$$W = \overline{q} \hat{C}_f$$

この式において、 W 、 $\overline{q}$ 及び $\hat{C}_f$ は、それぞれ次の数値を表すものとする。

W 風圧力(単位 N/m^2)

$\overline{q}$ 次の式によって計算した平均速度圧 (単位 N/m^2)

$$\overline{q} = 0.6 E_r V_0^2$$

この式において、 E_r 及び V_0 は、それぞれ次の数値を表すものとする。

E_r 平成 12 年建設省告示第 1454 号第 1 第 2 項に規定する E_r の数値

ただし、地表面粗度区分がⅣの場合においては、地表面粗度区分がⅢにおける数値を用いるものとする。

V_0 平成 12 年建設省告示第 1454 号第 2 に規定する基準風速の数値

$\hat{C}_f$ 屋根ふき材又は屋外に面する帳壁に対するピーク風力係数で、風洞試験によって定める場合のほか、次項又は第 3 項に規定する数値

28 ページ a) 確認事項 表中の a' の定義を明確化。

平面の短辺の長さ H の 2 倍の数値のうちいずれか小さい数値 a' の値 [] m

31 ページ ③ピーク風力係数 分数式の印刷ズレ $(\frac{5}{H})^{2\alpha}$ $(\frac{Z}{H})^{2\alpha}$

以上